

魅力再発見!

港北をもっと
好きになる!

KOHOKU 80th ANNIVERSARY

港北区制80周年記念誌

港北区制80周年記念誌



港北区制80周年記念事業実行委員会



港北区制80周年記念事業実行委員会

!WEBで配信中!



港北映像ライブラリ

本誌内で紹介をしている港北区の歴史や見どころ、
港北区の発展を知る方々の体験談を映像で見ることができます。

URL <http://kohoku-yokohama.jp>

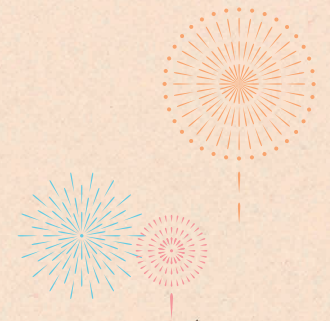
港北映像ライブラリ

検索



CONCEPT

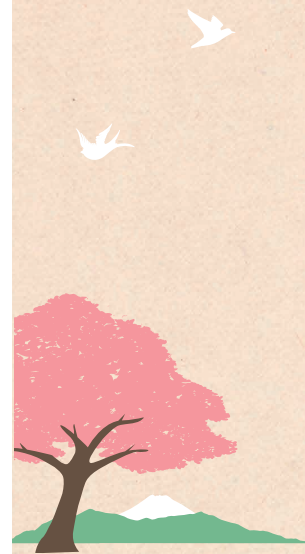
区制80周年を記念して、皆様に知っていただきたい
港北区の魅力を一冊にまとめました。



CONTENTS

港北区の概要	02
港北区の歴史	04

〈港北ハイライト〉 歴史的建造物	08
横浜の陸の玄関口	12
新横浜公園	15
大倉山公園	20
学生で活気あふれる田園都市	24
歴史と最先端が交差するまち	30
小机城	34
篠原城	37
富士山～港北区から望む富士～	38
緑道・遊歩道	40
公園	44
こうほく歳時記	51



※本誌に掲載されている情報は2019年1月時点のものです。

港北区制80周年ロゴマークについて



このロゴマークは、“区民の区への愛着が一層深まるように”と制定された
港北区のシンボルマークをベースに作成しました。→P.02
シンボルマークに込められた思いに加えて、祝祭感を表現するために
葉の輪やリボンを配置したデザインとなっています。

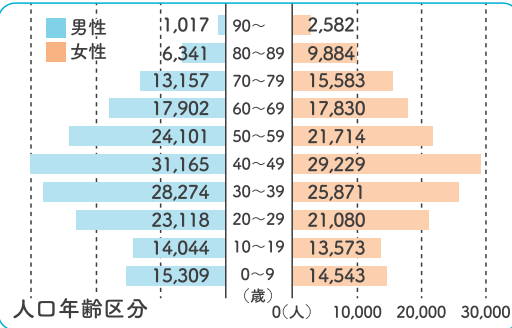
港北区の概要

1 人口構成

人口・世帯 (2018年11月1日現在)

人口 : 351,331人 (市内1位)
 世帯数 : 168,511世帯 (市内1位)
 出典: 横浜市統計ポータルサイト

年齢 (2018年1月1日現在) 平均年齢: 43.25歳



2 土地・風土

市の北東部に位置する港北区。
 豊かな自然があり、交通の利便性が高い住みやすい街です。

面積 : 31.37km² (市内5位)
 人口密度: 11,200人/km² (市内3位) (2018年11月1日現在)
 出典: 横浜市統計ポータルサイト



写真提供: 港北観光協会

3 産業 (2014年7月1日時点)

港北区の産業構造は、サービス業が約85%、製造業が約14%、農業が約0.4%を占め、全市的な傾向とほぼ同じ構成です。農家1戸あたりの耕地面積は18区中8番目、就業者数は5番目となっています。工業の従業者1人あたりの出荷額は市平均値と中央値を下回り、比較的小規模な事業規模となっています。

出典: 横浜市統計ポータルサイト



写真提供: 港北観光協会

4 区のシンボルマーク・木・花・キャラクター



港北区

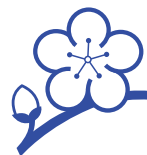
〈区のシンボルマーク〉

1988年に区制50周年を記念して制定されました。港北の「北」という文字を使い、未来に向けて2羽の鳥が協調・発展する姿を表現しています。シンボルマークの色は、未来に向けて発展を続ける港北区にふさわしく、自然を愛する区民の心と若々しさを強調した緑です。

〈区の木: ハナミズキ〉



〈区の花: ウメ〉



〈区のキャラクター〉

港北区ミズキーは、区の木「ハナミズキ」の妖精です。2009年に区制70周年を記念し誕生しました。

5 港北区の地図



- 1859 ● 横浜開港
- 1871 ● 廃藩置県により神奈川県が置かれる
- 1889 ● 横浜に市制施行
- 1904 ● 網島の桃栽培が始まる
- 1908 ● 横浜鉄道(横浜線の前身)(東神奈川～八王子間)開通、小机駅開業
- 1914 ● 樽町・網島でラジウム鉱泉発見
- 1923 ● 関東大震災
- 1926 ● 東京横浜電鉄神奈川線(東急東横線の前身)開通
● 横浜鉄道菊名駅開業
- 1927 ● 区制施行(鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子)
● 東京横浜電鉄が網島温泉浴場を開業
- 1931 ● 東京横浜電鉄が大倉山梅林を整備
- 1932 ● 東急東横線全線(渋谷～桜木町間)開通
● 大倉精神文化研究所開設
- 1934 ● 慶應義塾大学予科が日吉に移転
- 1938 ● 豪雨により鶴見川の堤防決壊、甚大な被害を受ける



- 1939 ● 港北区誕生
- 1941 ● 横浜線の直通運転開始(東神奈川～八王子間)
- 1942 ● 港北区庁舎が菊名に開設
- 1944 ● 海軍連合艦隊司令部が慶應義塾大学日吉キャンパスに駐留
- 1945 ● 米軍が慶應義塾大学日吉キャンパスを接收
- 1949 ● 慶應義塾大学日吉キャンパス返還
- 1951 ● 港北消防署開署
- 1953 ● 人口10万人突破
- 1955 ● 岸根基地米軍兵舎開設
- 1956 ● 横浜市が政令指定都市に指定
- 1960 ● 港北区総合庁舎が菊名に開設
- 1961 ● 港北区連合町内会長連絡会(現 港北区連合町内会)発足
- 1964 ● 人口20万人突破
● 東海道新幹線開通・新横浜駅開業
- 1965 ● 第三京浜道路開通
- 1967 ● 港北警察署開署



H I S T O R Y O F K O H O K U W A R D

- 1969 ● 緑区分区
- 1976 ● 東海道新幹線ひかり号が新横浜駅に停車
- 1978 ● 港北区新総合庁舎が大豆戸町に開設
- 1980 ● 横浜市港北図書館開館
- 1984 ● 横浜市大倉山記念館開館
 - 第1回鶴見川花火大会(綱島エリア)開催
- 1985 ● 横浜市営地下鉄(横浜～新横浜間)開通
- 1987 ● 横浜市総合リハビリテーションセンター開設
- 1988 ● 港北区シンボルマーク制定
- 1989 ● 横浜市政100周年・港北区制50周年
 - 横浜アリーナ開館
 - 横浜博覧会開催
- 1990 ● 人口30万人突破
- 1991 ● 区の木ハナミズキ、区の花ウメ選定
- 1992 ● 横浜市障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール開館
- 1993 ● 横浜市営地下鉄(新横浜～あざみ野間)開通
- 1994 ● 港北区の北西部が都筑区に編入

- 1998 ● 横浜国際総合競技場(現日産スタジアム)開設
- 2000 ● 東海道新幹線のぞみ号全列車が新横浜駅に停車
- 2002 ● 2002 FIFAワールドカップ大会の決勝戦などが港北区で開催
- 2003 ● 鶴見川多目的遊水地運用開始
- 2006 ● 市内初の地域子育て支援拠点「どろっぶ」開設
- 2008 ● 横浜市営地下鉄グリーンライン(日吉～中山間)開業
- 2009 ● 横浜開港150周年・港北区制70周年
 - 港北区ミズキー誕生
- 2011 ● 東日本大震災
- 2014 ● 新横浜駅開業50周年
- 2016 ● 横浜F・マリノスの本社・練習場が新横浜地区に移転
- 2017 ● 小机城が続日本100名城に選定
 - 首都高速道路「横浜北線」開通
- 2018 ● 菊名駅バリアフリー化
- 2019 ● 港北区制80周年
 - ラグビーワールドカップ2019™決勝戦などが港北区で開催
- 2020 ● 東京2020オリンピック・パラリンピック一部競技が港北区で開催





さいほうじ
西方寺

🏠 新羽町2586

国・県・市の文化財を所有する格式ある古刹で、室町時代に鎌倉の地から移ってきました。寺内の花木は四季を美しく彩ります。



〈冬は鰯梅のいい香りが境内に漂う〉



〈雪景色の西方寺〉

西方寺の彼岸花 →P.55

うんしょういん
雲松院

🏠 小机町1451

小机城主であった小田原北条氏の重臣・笠原氏が主君と父親の菩提を弔うため、1525年に神奈川県神奈川区神大寺に創建。江戸時代に見舞われ、現在の小机に移りました。横浜市指定文化財の山門、本堂や横浜市地域史跡の笠原家歴代墓所が見どころです。

小机城 →P.34



山門



本堂

いだけじゅうたく
飯田家住宅

🏠 網島台17-5

飯田家は代々北網島村の名主を務めた旧家。横浜市指定文化財の長屋門・主屋は、棟をすべて箱棟造りとした珍しい形式となっています。現在の敷地内には、長屋門と主屋のほか、屋敷地を囲んでいた構え堀の一部が残っています。



きゅうよこはまてつどういこう
旧横浜鉄道遺構

🏠 錦が丘1

JR横浜線の旧網島街道と錦が丘ロータリーを結ぶ道路を跨ぐ鉄道橋(1908年頃建築)。複線化にともない、鉄筋コンクリート橋台が合築されましたが、上り線側に石造の橋台、土留翼壁(谷積擁壁)2面が現存しています。



いけのやけじゅうたく
池谷家住宅

🏠 網島東1-8

江戸時代初期から南網島村の名主を代々務めた旧家で、幕末に建築された名主階級の住宅事例として整った建築様式となっています。網島駅に近接した環境下において、主屋等の当時の基本形態を残すところも多く、全体的に創建時の面影を伝えています。

池谷太郎氏が発見した桃「日月桃」→P.32



なかざわたかえてい
中澤高枝邸

🏠 日吉地区

日吉で郊外住宅地の開発が始まった頃(1933年)に建てられた洋風木造2階建ての個人住宅。施主は豪華客船浅間丸の高級船員でした。その体験とセンスが反映された、お洒落な洋館です。

その他の
歴史的建造物

- ★横浜市大倉山記念館 →P.22
- ★慶應義塾第1校舎(現 高等学校校舎)、寄宿舎南寮/浴場棟、キリスト教青年会館(日吉チャペル) →P.26
- ★田邊泰孝記念館(日吉の森庭園美術館) →P.41



◀ 新横浜プリンスホテル

🏠 新横浜3-4

新横浜エリアで1番の高さを誇る
地上42階の高層ホテル。

▶▶ 横浜アリーナ

🏠 新横浜3-10

1989年、横浜市政100周年記念施設として開業。日本で初めてアリーナの名前が付けられた多目的イベントホールです。



写真提供: 株式会社横浜アリーナ

▶▶ 新横浜ラーメン博物館

🏠 新横浜2-14-21

世界初のフードテーマパーク。昭和のレトロな街並みを再現した館内には、国内のみならず世界各地のラーメンの銘店が暖簾を並べています。また、ライブや大道芸、紙芝居といった楽しいイベントもあり、食べる以外の楽しみも満載です。



写真提供: 新横浜ラーメン博物館

▶▶ KOSÉ新横浜 スケートセンター

🏠 新横浜2-11

オールシーズン営業の国際規格のスケートリンク。アイスショーの公演やフィギュアスケート教室を開催しています。



写真提供: 新横浜プリンスホテル



よこはまびざくら
横浜緋桜

写真提供: 港北観光協会

新横浜駅前公園

🏠 新横浜2-16-1

鳥山川の河川敷沿いに続く公園です。花木や水辺の景色が楽しめます。桜の季節には、各種の桜が艶を競う絶好の花見どころです。



写真提供: 港北観光協会



ワールドカップ大橋

🏠 鳥山町

2002FIFAワールドカップ大会の開催を記念し開通。付近には、横浜緋桜もある桜並木が続いています。

横浜緋桜 →P.44

港北ハイライト

新横浜公園



新横浜公園

🏠 小机町3300

市内最大の運動公園。鶴見川の増水時には、日産スタジアムの下など公園に水を流入させて、増水した水の一部を溜めることで、流域への洪水被害を低減させる「鶴見川多目的遊水地」としても機能します。

★鶴見川多目的遊水地 →P.16
★堂 →P.53 ★新横浜花火大会 →P.54



写真提供: 港北観光協会

鶴見川多目的遊水地

小机町3300



流入前



流入後

写真提供: 港北観光協会

写真提供: 港北観光協会



鶴見川

町田市を源流として東京湾(鶴見区)まで注ぐ一級河川。全長42.5km、流域面積は235km²で、流域の形がバクに似ていることから「バクの川」としても親しまれています。



資料提供: NPO法人鶴見川流域ネットワーク

Column

- 治水 -

鶴見川は古来あばれ川として知られ、度々洪水に見舞われてきました。さらに市街化が進んだことで、流域の7割を占める丘陵地で保水機能・遊水機能が低下し、洪水のリスクは一層高まりました。そこで1980年から河道や下水道の整備に加えて、雨水調整池の設置や緑の保護などの流域対策を進める総合治水対策を行ってきました。鶴見川多目的遊水地もその対策の1つです。



写真提供: NPO法人鶴見川流域ネットワーク

地域防災施設 鶴見川流域センター

小机町2081

鶴見川流域の水環境の健全化に向けた水マスタープランの取組を紹介する施設です。市民の環境学習の場としても活用されています。

メドウガーデン

小机町3300

ナチュラルガーデンの第一人者であるポール・スミザー氏がデザインし、ボランティアの皆さんが植え付け、管理をしている花壇。生物多様性に配慮し、遊水地という厳しい環境にも負けずに育つような宿根草をメインに植栽しています。



日産スタジアム

(横浜国際総合競技場)

🏠 小机町3300

サッカー、ラグビー、陸上競技等、
様々なスポーツの聖地にふさわしい国内最大級のスタジアム。
2002FIFAワールドカップ大会の決勝戦が開催されたほか、
ラグビーワールドカップ2019™の決勝戦や
東京2020オリンピック・パラリンピックの会場としても使用されます。



写真提供：港北観光協会

日産ウォーターパーク

🏠 小机町3302-5

日産スタジアム内の温水を利用した22種類のプール施設。流水プールやウォーターライダー、ジャグジーなどがあります。

写真提供：
公益財団法人横浜市体育協会

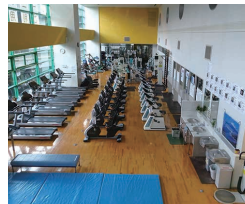


横浜市スポーツ医科学センター

🏠 小机町3302-5

スポーツ医科学に基づく、市民の健康づくりの推進、スポーツの振興及び競技選手の競技力向上のため設立されました。

写真提供：
公益財団法人横浜市体育協会



Column

-横浜F・マリノス-



港北区には、横浜F・マリノスがある。

横浜市をホームタウン、日産スタジアムをホームスタジアムとしているプロサッカークラブ。チームカラーはトリコロール、公式キャラクターは「マリノス君」と「マリノスケ」です。マリノス(MARINOS)とは、スペイン語で「船乗り」のこと。7つの海を渡り世界をめざす姿と、ホームタウンである国際的港・横浜のイメージをオーバーラップさせています。

2016年1月には港北区、港北区連合町内会と「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を結び、様々な地域貢献をしています。

大倉山公園

🏠 大倉山2-10

梅林には、46種、約220本の紅・白梅があり、2月には観梅会が開催されます。梅林の梅の実からは大倉山梅酒「梅の薫」が作られており、観梅会などで販売されています。

梅林→P.51

写真提供:港北観光協会



〈紅葉で彩られる大倉山公園〉

写真提供:港北観光協会



〈大倉山梅酒「梅の薫」ヨコハマ・グッズ「横濱001」認定商品〉

写真提供:港北観光協会

Column

- シドモア桜 -

明治時代、ワシントン・ポトマック河畔へ日本から3,000本の桜が贈られました。その実現に尽力したアメリカ人女性が、エリザ・シドモアです。日本へ里帰りを果たしたポトマック河畔の桜は、彼女が眠る横浜山手外国人墓地に植樹され「シドモア桜」と呼ばれています。そのシドモア桜から接ぎ木をして作った苗木が、2017年に開催された「全国都市緑化よこはまフェア」の記念として、大倉山公園に植樹されました。また、日本が贈った桜の返礼として、1915年にアメリカより贈られたハナミズキから接ぎ木をして作った苗木も植樹予定です。



横浜市 大倉山記念館

🏠 大倉山2-10-1

ギリシャ神殿風の外観や
社寺建築の木組みを用いたホールなど、
見どころが多くあります。



Column

- 横浜市大倉山記念館の歴史 -

実業家で後に東洋大学学長を務めた大倉邦彦により1932年「大倉精神文化研究所」の本館として創建されました。1981年横浜市が寄贈を受け、大改修のうえ建物の保存を図るとともに、1984年市民利用施設として横浜市大倉山記念館に生まれ変わり、1991年には横浜市指定有形文化財に指定されました。



大倉精神文化研究所

🏠 大倉山2-10-1

1932年の設立時より、日本文化の振興及び世界の文化の進展に寄与することを目的として活動しています。現在は、精神文化の研究、研究成果の普及活動、附属図書館の運営と図書資料の充実・整備を進めており、図書館は11万冊の本を所蔵しています。

学生で活気あふれる田園都市 ~日吉~

田園都市…都会と田園の両方の魅力を併せ持つ都市



駅前放射状道路

日吉駅西口側には、普通部通り、日吉中央通り、浜銀通り、サンロードなどの道路が放射状に広がっています。



慶應義塾大学

日吉キャンパス

🏠 日吉4-1-1



写真提供: 慶應義塾広報室

1934年に日吉駅の東側に
キャンパスができました。

日吉台地下壕

🏠 日吉4-1-1



1944年から1945年に作られた
旧帝国海軍の地下壕。

連合艦隊司令部地下作戦室

写真提供: 慶應義塾広報室

第1校舎 (現 高等学校校舎)

1934年建造



写真提供: 慶應義塾広報室

寄宿舍 南寮/浴場棟

1937年建造



写真提供: 慶應義塾広報室

連合艦隊司令部地下壕入口



写真提供: 慶應義塾広報室

連合艦隊司令長官室



写真提供: 慶應義塾広報室

⏪

キリスト教青年会館 (日吉チャペル)

1937年建造



銀杏並木 → P.56

Column
r

- 日吉台地下壕の歴史 -

慶應義塾大学日吉キャンパスの地下には、連合艦隊司令部などの旧海軍の壕が長さ約2,600mにわたって残されています。また、大聖院の裏山にも、海軍省艦政本部として利用するべく、総延長2,400m以上の地下壕が建設されましたが、使用されることなく終戦を迎えました。



写真提供：港北観光協会

こんぞうじ
金藏寺

🏠 日吉本町2-41-2

徳川三代将軍家光公より55石の御朱印を賜った関東の檀林寺(学問所)で、武州屈指の天台宗の名刹。かつて徳川家康が秀忠の銘文を入れて浅草誓願寺に寄進した大梵鐘があります。その他、キリタン石燈籠、板碑、力石、歴代住職使用の籠などが保存されています。

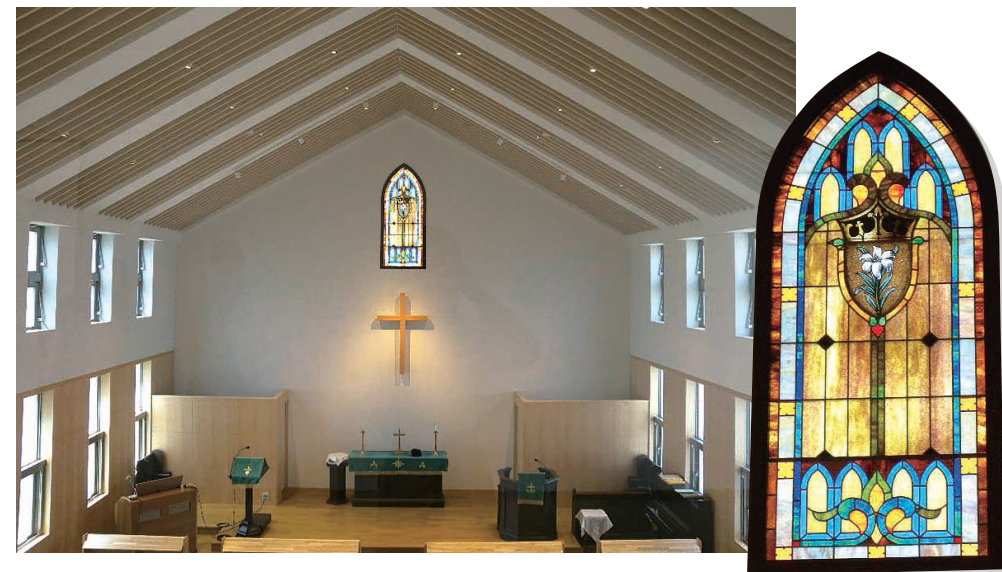


写真提供：港北観光協会

Column

ひよしごんげん
- 日吉権現 -

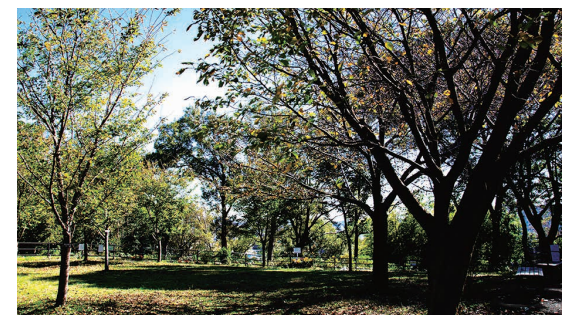
日吉という地名は、金藏寺にあった「日吉権現」にちなんで名づけられたといわれています。日吉権現は滋賀県の比叡山にある日吉山王(日枝神社)の分霊です。



**日本福音
ルーテル日吉教会**

🏠 下田町1-21-10

1962年設立の教会で、ドイツの宗教改革者ルター(ルーテル)の信仰の流れを受け継ぐプロテスタント教会。現在の建物は2017年に建て直したもので、横浜文化賞受賞者で横浜マイスターの平山健雄氏によりステンドグラスが修復されました。



日吉の丘公園

🏠 箕輪町3-13

高台にあり、見晴らしが良い、緑豊かな明るい公園。小学生が作った樹木のネームプレートがあるなど、地域に愛されている公園です。

みのわどうやとよこあなぼぐんあと
箕輪洞谷横穴墓群跡

🏠 箕輪町3-416

2001年日吉の丘公園整備に伴う防災工事の途中に見発見されたお墓です。遺物の特徴などから、お墓が作られたのは600年代中頃から終わり頃を中心とする時期とされています。

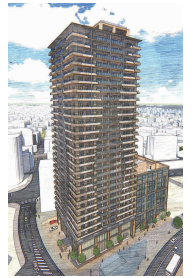


歴史と最先端が交差するまち ～網島～



写真提供: 新網島駅前地区市街地再開発組合

網島エリアの開発



再開発ビルイメージ
資料提供: 新網島駅前地区市街地再開発組合

網島駅の東側では、東急東横線と相鉄線を接続する「相鉄・東急直通線」整備に伴う「新網島駅(仮称)」の新設工事が進んでいます。また横浜市による土地区画整理事業が行われており、それにあわせ新網島駅(仮称)前地区の再開発事業が進んでいます。



🏠 網島東4-3

工場跡地を活用して、さまざまな企業、大学、自治体、地域とともにサステイナブル(持続可能)でスマート(便利で快適)なまちづくりを目指す次世代都市型スマートタウン。



写真提供: Tsunashima サステイナブル・スマートタウン協議会

Column

- 網島温泉 -

1914年、新しく井戸を掘った際に茶色の水がわいたことが網島温泉の始まりです。1926年には東京横浜電鉄神奈川線(現 東急東横線)網島温泉駅が開業し、これと共に温泉も賑わうようになりました。一時は「横浜の箱根」「東京の奥座敷」などと呼ばれ栄えましたが、1994年には最後の温泉旅館が廃業、唯一残っていた日帰り温泉施設も新駅建設のため2015年に無期限休業となりました。



写真提供: 金井敏博氏

<2015年に無期限休業となった日帰り温泉施設「東京園」>



写真提供: 森篤男氏

<1960年代の温泉街の様子>



写真提供: 飯田正巳氏

<1932年、相川旅館前に並んだ芸者衆>

網島市民の森

🏠 網島台1

網島公園から、スギ、ヒノキ、モウソウ竹の遊歩道を通り抜けると、晴れた日にはみなとみらい21地区まで見える展望台と、かつての特産品にちなむ桃の里広場があります。



桃の里広場

写真提供：港北観光協会



写真提供：港北観光協会

網島公園

🏠 網島台1

たくさんの桜があり、毎年桜の開花時期にあわせて桜まつりが開催されます。公園内には、こどもログハウス「モッキー」やテニスコート(夏季は屋外プール)なども設置されています。



春

写真提供：港北観光協会



夏

秋

写真提供：港北観光協会

写真提供：港北観光協会

Column

- 日月桃 じつげつとう -

池谷道太郎(いけのやみちたろう)氏が1900年代はじめに発見した桃の極早生品種「日月桃」が人気を博し、大正から昭和のはじめまで、網島周辺は日本を代表する桃の産地でした。1938年の大水害で壊滅的な被害を受けた上に、戦争の時代となり、その後桃栽培は衰退してしまいました。しかし近年になり、往時を記念して、網島ではハナモモの木を沢山植え、「網島桃まつり」を開催しています。また、日月桃を使用したビール「網島桃エール」が株式会社横浜ビールから発売されています。

〈網島桃エール〉



〈桃畑〉

写真提供：池谷道義氏



〈1930年、桃の袋かけ〉 写真提供：池谷道義氏

池谷家住宅→P.10、網島桃まつり→P.52

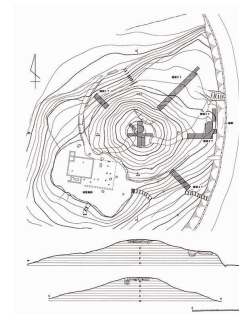
写真提供：株式会社横浜ビール

網島古墳

🏠 網島台1

5世紀後半頃に造られた、直径約20m、高さ約3mの円墳。鉄刀、須恵器甕、円筒埴輪などの遺物が出土しました。

網島古墳全体図→
(公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター所蔵)





出陣式



鉄砲衆

写真提供:港北観光協会



武者隊

写真提供:港北観光協会

小机城址市民の森

小机城址を市民の森として整備しており、迫力満点の巨大な空堀や、土塁・本丸・二の丸などの主要な遺構が、ほぼ原型のまま残されています。

🏠 小机町735-1 ほか

Column

- 小机城の歴史 -

小机城は、室町時代までには築城されていたと考えられます。背後の神奈川湊(神奈川区)と鶴見川及び鎌倉街道の交差する交通の要衝であり、横浜市北部一帯を含む支配拠点でした。1478年には長尾景春(ながおかげはる)の乱にともなう戦乱で、太田道灌(おたどうかん)によって攻め落とされています。戦国時代には、小田原北条氏の関東進出の中で重要な軍事拠点となり、城も改築されたようです。北条氏の重臣・笠原越前守信為(かさらはちぜんのかみのぶため)が城代となった後、北条三郎(さぶろう)・氏信(うじのぶ)・氏堯(うじたか)・氏光(うじみつ)が城主となりました。2017年には日本城郭協会の「続日本100名城」にも選定されました。

その他の歴史的建造物

笠原氏の菩提寺 雲松院 →P.10

小机城址まつり

小机城城代・笠原越前守信為をはじめとする勇壮な武者行列のパレードや、本丸広場での武者出陣式・小机城址太鼓の演奏などが披露されます(例年は4~5月に開催)。



さんねじ

三会寺

🏠 鳥山町730

1170年代に、源頼朝が佐々木高綱(ささきたかつな)に奉行を命じ、鎌倉幕府の鬼門除けとして建立したと伝わる古刹。室町時代に弘法大師の教えを広めた中興の住職・印融法印(いんゆうほういん)の墓が横浜市地域史跡に指定されています。

竹灯籠まつり

小机城址市民の森保全活動の一環で間伐した竹から作られた竹灯籠5,000本余りが、10月下旬に竹林内に設置され、幻想的な風景を楽しむことができます。



写真提供:港北観光協会



写真提供:港北観光協会

港北ハイライト

篠原城

篠原城址緑地

🏠 篠原町2559 ほか

篠原城の遺構が残る緑地で、土橋や空堀、土塁が残っています。地域の人たちによって大切に守られ、受け継がれている財産です。
※普段は立ち入ることができません

写真提供:小林富夫氏

Column
②

- 篠原城の歴史 -

平安時代末期の金子家忠(かねこいえただ)が築城したともいわれ、後北条時代にもその子孫の金子出雲(かねこいずも)が城主を務めたと伝えられています。2011年に発掘調査が行われ、カワラケ(儀式で使われたと考えられる酒杯)などが出土しました。

ちょうふくじ
長福寺

🏠 篠原町2754



篠原城の城主・金子氏の菩提寺。1986年、金子氏が奉納した薬師如来の修理を行った際に、胎内から1595年の棟札が発見されました。この棟札からは金子氏が武器を捨て農民になったことが推測されます。

みょうれんじ
妙蓮寺

🏠 菊名2-1-5



駅名にもなっている妙蓮寺は、元は長光山大経院妙仙寺といい、現在の神奈川県にありました。1908年横浜線の開通に伴い、菊名池畔の蓮光寺と合併。妙仙寺の「妙」と蓮光寺の「蓮」とをとって妙蓮寺と命名されました。

富士山 ~港北区から望む富士~



大倉山公園

写真提供:港北観光協会



樽網橋

写真提供:港北観光協会



鶴見川・鳥山川合流地点

写真提供:港北観光協会



大綱橋



松の川緑道

🏠 下田町5-32 (日吉本町～下田町～高田町)

元は松の川という清流で、日吉本町・下田町から高田町にかかる距離約2.1km、幅約2mの遊歩道になっており、地域に自生の草花や木、虫、鳥などが賑わう自然豊かな土の道です。自然と人間が共生でき、安全で快適に利用できる楽しい道を目指し、6年間かけて整備して、1999年に完成。今日まで地域の方々の交流の場となっている憩いの空間です。

松の川緑道まつり → P.53



彫刻『爬虫類』



日吉の森庭園美術館

🏠 下田町3-10-34

松の川緑道近くにあります。日吉の森庭園、田邊泰孝記念館、田辺光彰美術館の3つのパートで構成されています。

四季折々の風情が感じられる歴史的景観のなかに、彫刻家・田辺光彰氏のモダンな彫刻作品や民俗資料等の収蔵物が展示されています。40ページの彫刻「爬虫類」や53ページの彫刻「BIRD」は田辺氏の作品です。



田辺光彰美術館

写真提供：日吉の森庭園美術館

田邊泰孝記念館



ふとおづつみ
太尾堤緑道

🏠 大倉山7-40-1

鳥山川の水路跡を緑道として整備。太尾新道沿いにあり、1989年の横浜彫刻展に出品された様々な現代彫刻が立ち並んでいます。ユーモラスなものや、オリジナリティ溢れるものなど、野外ギャラリーさながら。桜の季節には花のトンネルが続く、素敵な散歩道になります。



〈彫刻『ブリーズリクエスト』
太尾小学校近くの
通称「おじさん公園」に設置



にった
新田緑道

🏠 新羽町2097

水路跡地を整備した緑道で、周辺の工場で使われていた機械部品でできたモニュメントや、地域の住民や小学生が制作したモザイクタイル・貝殻などの絵が足元に点在しています。緑道内には小川が流れる親水広場があります。



〈コンプレッサー〉



写真提供：港北ボランティアガイド

にっばちょう・しんよしだちょう
新羽町・新吉田町
せせらぎ緑道

🏠 新羽町3746~6045
新吉田町5603~6077

新羽町と新吉田町の境を流れる水路に沿った緑道。上流の谷戸から出てくる水を引くことで、緑道に沿った水路に水を流しています。水のせせらぎが聞こえる、憩いの場や生活道路としても快適なルートです。



くらべやと
倉部谷戸
遊歩道

🏠 新吉田町2513~2842

水路跡を道路として整備。自動車のスピードを抑えるために車道部分を蛇行させ歩道の幅を変化させたコミュニティ道路の部分と、新田緑道へと続く緑道部分から成り立っています。広い歩道には街路樹やベンチがたくさん配置され、ゆったりと歩くことができます。





写真提供：港北観光協会

岸根公園

岸根町725 ほか

広々とした敷地に、ゆったりとした芝生が広がっている公園。ローラーすべり台などの遊具がある「忍者とりで」は子どもたちに大人気です。一角には柔道場・剣道場・弓道場を備えた県立武道館も建っています。戦時中は日本軍の基地、戦後は米軍に接収されていましたが、1972年までに接収が全て解除されました。

Column

よこはまびざくら
- 横浜緋桜 -

「横浜」の名を冠する桜で、1972年頃、港北区高田町の白井勲氏によって作られました。寒緋桜と山桜の一種「兼六園熊谷」を交配したもので、鮮やかな鮮色をした大輪の花を咲かせます。岸根公園や新横浜駅前広場、ワールドカップ大橋の両側に植えられています。

新横浜駅前公園 横浜緋桜 →P.14



写真提供：港北観光協会



写真提供：港北観光協会

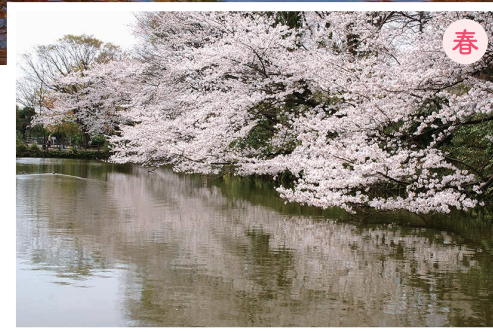


写真提供：港北観光協会

菊名池公園

🏠 菊名1-8-1

菊名池を中心にした、景色のきれいな公園。
春は桜、冬には野鳥を見ることができ、夏はプールも楽しめます。



写真提供：港北観光協会



写真提供：港北観光協会

熊野神社 市民の森

🏠 師岡町943 ほか

師岡熊野神社鎮守の森と天神山と呼ばれる台地の森という2つの森が、静かな住宅街を挟んで並んでいます。伝説の「い」の池があるほか、森の頂上は広場になっています。

「い」の池 → P.49



写真提供: 港北ボランティアガイド

もろおかくまのじんじゃ

師岡熊野神社

🏠 師岡町1137

885年光孝天皇が勅使を下して社殿を造営したと伝えられる神社。関東地区の熊野信仰の中心として栄え、数多くの神事を伝えています。

筒粥 → P.51



写真提供: 港北観光協会



星祭

写真提供: 港北観光協会



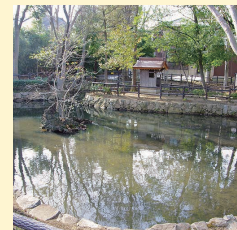
夏越の大祓

写真提供: 港北観光協会

Column

- 「い・の・ち」の池 -

師岡熊野神社前の「い」の池、本殿裏の「の」の池、埋め立てられ大曽根第二公園になった「ち」の池の3つの池の頭文字をつなげて「い・の・ちの池」と呼んでいます。これは、かつての時代の人々の水に対する関わりの深さを表しています。また、い池の片目鯉など、各池には古くからの伝説があります。



〈「い」の池〉



〈「の」の池〉

ふとおみはらしのおか 太尾見晴らしの丘公園

🏠 大倉山6-40

高台にあり、開放感あふれる公園。草木も多く、散策にも最適。ロープのジャングルジムやターザンロープも人気です。



ふとおみなみ

太尾南公園

🏠 大倉山7-40-1

港北水再生センターの屋上にある、見晴らしが良い公園。巨大な土管や流れ、池などがあります。



写真提供: 港北観光協会



にっばきゅうりょう
新羽丘陵公園

🏠 新羽町1491-1

なだらかな丘にある、広くて自然豊かな公園。大倉山や新横浜が見渡せます。



日吉公園

🏠 日吉2-31

見晴らしの良い緑豊かな公園。テレビのロケにもよく使われており、武蔵小杉の高層ビル群を望むことができます。



日吉本町
たいがさき
鯛ヶ崎公園

🏠 日吉本町5-62

中央の広場を取り囲むように竹林や雑木林が残っている公園。木々の間の小道を進むと、丘の頂上に展望台があり、周囲を一望することができます。



その他の公園
(50音順)

★大倉山公園 →P.20 ★菊名桜山公園 →P.52 ★小机城址市民の森 →P.34 ★新横浜駅前公園 →P.14
★新横浜公園 →P.15 ★綱島公園 →P.33 ★綱島市民の森 →P.32 ★日吉の丘公園 →P.29

～こうほく歳時記～

港北区の年中行事や四季を月ごとに紹介します。

1月

師岡熊野神社の
筒粥

949年より絶えることなく続けられ、横浜市指定無形民俗文化財にも指定されています。毎年1月14日に行われ、多くの見物客が訪れます。

写真提供: 師岡熊野神社

🏠 師岡町1137

!! 東急東横線大倉山駅から
徒歩9分

神社の詳細 →P.48



2月

大倉山公園の梅林

一つの枝に淡い紅、紅、白の花が咲き乱れる「思いのまま」や、花弁を支える柗の部分が緑色の「緑柗梅(りょくがくばい)」などの珍しい梅もあります。

写真提供: 港北観光協会

🏠 大倉山2-10

!! 東急東横線大倉山駅から
徒歩7分

大倉山公園の詳細 →P.20



3月

綱島桃まつり

綱島市民の森にある桃の里広場で、例年3月中旬頃に開催されます。桃栽培の一大産地だった綱島の歴史を感じるおまつりです。

写真提供：港北桃まつり実行委員会

📍 綱島台1

!! 東急東横線綱島駅から徒歩11分

綱島市民の森、日月桃の詳細 →P.32



4月

菊名桜山公園の八重桜

4月中旬に150本以上の八重桜が咲き、山がピンク色に染まります。

旧所有者の第一カーボンの社名にちなみ、「カーボン山」の名でも親しまれています。

写真提供：港北観光協会

📍 菊名3-11

!! 東急東横線菊名駅から徒歩8分

5月

松の川緑道まつり

毎年5月に開催され、新緑の中、アルプホルンやウクレレの音色が優しく響くおまつりです。会場では、緑道で採れた葉を使用した手作りの飲み物がふるまわれ、緑道に生息する野生動植物の写真の展示や、動植物をモチーフにしたオリジナルのキルトが飾られることがあります。

写真提供：港北ボランティアガイド

📍 下田町5-32

(日吉本町～下田町～高田町)

!! 東急東横線日吉駅から徒歩20分

松の川緑道の詳細 →P.40



6月

新横浜公園の蛍

新横浜公園の一部ではヘイケボタルの復活、自然繁殖を目指した取組が行われており、6月頃には幽玄な風景を楽しむことができます。

写真提供：NPO法人鶴見川流域ネットワーク

📍 小机町3300

!! JR横浜線新横浜駅から徒歩20分

新横浜公園の詳細 →P.15

7月

新横浜花火大会

かつて網島に近い鶴見川沿いで花火大会が行われていました。

港北区制80周年プレイベントとして2018年から新横浜花火大会が始まりました。

写真提供: 港北観光協会



🏠 小机町3300

🚶 JR横浜線新横浜駅から徒歩20分

📄 新横浜公園の詳細 →P.15



8月

つなしますわじんじゃ 網島諏訪神社 御祭礼

毎年8月の最終の土日に行われます。14基におよぶ神輿の数は市内最大級で、担ぎ手は総勢1,000人以上になる勇壮なお祭りです。最終日の「宮入り」で網島諏訪神社境内に集結します。

写真提供: 港北観光協会

🏠 網島東2-10-1

🚶 東急東横線網島駅から徒歩5分

9月

西方寺の 彼岸花

茅葺屋根と花の寺として知られる西方寺の秋は、彼岸花(曼珠沙華)が有名です。白や黄など珍しい色も植えられているのが特徴で、山門に続く参道が様々な色で彩られます。

写真提供: 港北観光協会

🏠 新羽町2586

🚶 横浜市営地下鉄ブルーライン新羽駅から徒歩7分

📄 西方寺の詳細 →P.8



10月

えんのうじ 圓應寺の 火渡り

横浜市無形民俗文化財保護団体による火渡り修行。毎年10月の体育の日に行われており、多くの見物客が訪れます。

写真提供: 港北観光協会

🏠 新吉田町4098

🚶 横浜市営地下鉄グリーンライン高田駅から徒歩15分



11月

慶應義塾大学の 銀杏並木

日吉駅前の正門から日吉記念館に続く長さ220m、幅22mの坂道にある約100本の銀杏は日吉のまちのシンボルとなっています。

写真提供：慶應義塾広報室

🏠 日吉4-1-1

🚶 東急東横線日吉駅から徒歩1分

慶應義塾大学日吉キャンパスの詳細 → P.26



12月

篠原八幡神社 から眺める朝日

静まり返った冬至の朝、鳥居の中からまっすぐと差し込む光を見ると、厳かな雰囲気になります。

写真提供：篠原八幡神社

🏠 篠原町2735

🚶 JR横浜線新横浜駅から徒歩7分



📖 Index

50音順

あ

- 飯田家住宅 P11
- 池谷家住宅 P10
- 雲松院 P10
- 駅前の放射状道路 P24
- 大倉精神文化研究所 P23
- 大倉山公園 P20、P51

さ

- 西方寺 P8、P55
- 三会寺 P35
- 篠原城址緑地 P37
- 新横浜駅前公園 P14
- 新横浜公園 P15、P53、P54
- 新横浜プリンスホテル P12
- 新横浜ラーメン博物館 P12

か

- 菊名池公園 P46
- 岸根公園 P44
- 旧横浜鉄道遺構 P11
- 熊野神社 市民の森 P48
- 倉部谷戸遊歩道 P43
- 慶應義塾大学日吉キャンパス P26、P56
- KOSÉ新横浜スケートセンター P13
- 小机城址市民の森 P34
- 小机城址まつり P35
- 金藏寺 P28

た

- 竹灯笼まつり P36
- 地域防災支援拠点 鶴見川流域センター P17
- 長福寺 P37
- Tsunashima SST P31
- 網島エリアの開発 P31
- 網島公園 P33
- 網島古墳 P33
- 網島市民の森 P32、P52
- 鶴見川 P16
- 鶴見川多目的遊水地 P16



Index

50音順

な

- 中澤高枝邸……………P11
- 日産ウォーターパーク……………P18
- 日産スタジアム
(横浜国際総合競技場)……………P18
- 新田緑道……………P43
- 新羽丘陵公園……………P50
- 新羽町・新吉田町せせらぎ緑道……………P42
- 日本福音ルーテル日吉教会……………P29



は

- 日吉公園……………P50
- 日吉台地下壕……………P27
- 日吉の丘公園……………P29
- 日吉の森庭園美術館……………P41
- 日吉本町綱ヶ崎公園……………P50
- 太尾堤緑道……………P42
- 太尾南公園……………P49
- 太尾見晴しの丘公園……………P49



ま

- 松の川緑道……………P40、P53
- 箕輪洞谷横穴墓群跡……………P29
- 妙蓮寺……………P37
- メドウガーデン……………P17
- 師岡熊野神社……………P48、P51

や

- 横浜アリーナ……………P12
- 横浜市大倉山記念館……………P22
- 横浜市スポーツ医科学センター……………P18

わ

- ワールドカップ大橋……………P14

Column

50音順

- 「い・の・ち」の池……………P49
- 小机城の歴史……………P34
- 日月桃……………P32
- シドモア桜……………P21
- 篠原城の歴史……………P37
- 治水……………P16
- 網島温泉……………P30
- 日吉権現……………P28
- 日吉台地下壕の歴史……………P27
- 横浜F・マリノス……………P19
- 横浜市大倉山記念館の歴史……………P22
- 横浜緋桜……………P44



こうほく歳時記

- 1月 🍷 師岡熊野神社の筒粥……………P51
- 2月 🍷 大倉山公園の梅林……………P51
- 3月 🌸 網島桃まつり……………P52
- 4月 🌸 菊名桜山公園の八重桜……………P52
- 5月 🍃 松の川緑道まつり……………P53
- 6月 🍃 新横浜公園の螢……………P53
- 7月 🌈 新横浜花火大会……………P54
- 8月 🌈 網島諏訪神社御祭礼……………P54
- 9月 🍂 西方寺の彼岸花……………P55
- 10月 🍂 圓應寺の火渡り……………P55
- 11月 🌸 慶應義塾大学の銀杏並木……………P56
- 12月 🌸 篠原八幡神社から眺める朝日……………P56





写真提供：港北観光協会

【参考文献】(50音順)

- ・港北観光協会(2017)『小机城址ガイドマップ』
- ・港北区郷土史編さん刊行委員会(1986)『港北区史』
- ・港北区区民活動支援センター『楽遊学』
- ・鶴見川流域水協議会(2008)『バクさんが案内する鶴見川流域BOOK』
- ・日吉台地下壕保存の会(2006)『戦争遺跡を歩く日吉』
- ・平井誠二(2009)『わがまち港北』
- ・平井誠二・林宏美(2014)『わがまち港北2』
- ・横浜市港北区役所
『広報よこはま港北区版』
(2009)『港北ウォーキングガイドブックてくてくこう歩く』
(2015)『港北区のまちと新横浜駅開業50周年』
(2017)『港北区ガイドマップ』
(2017)『地域わかりマス2017』
- ・公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
『埋文よこはま』

【写真・図版提供、編集協力】(50音順、敬称略)

- ・飯田助知
- ・飯田正巳
- ・池谷道義
- ・臼井義幸
- ・雲松院
- ・圓應寺
- ・大倉精神文化研究所
- ・金井敏博
- ・慶應義塾広報室
- ・港北観光協会
- ・港北ふるさとテレビ局
- ・港北ボランティアガイド
- ・港北桃まつり実行委員会
- ・国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
- ・小林富夫
- ・金藏寺
- ・西方寺
- ・三会寺
- ・篠原八幡神社
- ・首都高速道路株式会社
- ・新綱島駅前地区市街地再開発組合
- ・新横浜プリンスホテル
- ・新横浜ラーメン博物館
- ・長福寺
- ・Tsunashima サスティナブル・スマートタウン協議会
- ・綱島諏訪神社

- ・NPO法人鶴見川流域ネットワーク
- ・東京急行電鉄株式会社
- ・どうよこ沿線
- ・中澤良治
- ・NPO法人日本の竹ファンクラブ
- ・日本福音ルーテル日吉教会
- ・日吉の森庭園美術館
- ・松の川遊歩道(緑道)の会
- ・妙蓮寺
- ・森篤男
- ・師岡熊野神社

- ・株式会社横浜アリーナ
- ・横浜市大倉山記念館
- ・横浜市環境創造局北部公園緑地事務所
- ・横浜市港北区役所
- ・横浜市港北図書館
- ・横浜市史資料室
- ・公益財団法人横浜市体育協会
- ・公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- ・横浜市文化観光局文化振興課
- ・株式会社横浜ビール
- ・横浜マリノス株式会社

【監修】(50音順、敬称略)

わがまち港北映像プロジェクト
(伊藤幸晴 小林富夫 三枝千春 平井誠二)

【編集】

横浜市港北区役所区政推進課
横浜市港北区役所地域振興課

【制作・デザイン】

株式会社オールスタッフ

港北区制80周年記念誌

発行日：2019年4月1日

発行：港北区制80周年記念事業実行委員会
(港北区役所総務課)

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町26-1(港北区役所内)
☎ 045-540-2206 ㊟ 045-540-2209

《掲載内容に関するお問合せ》

◆港北区役所区政推進課広報相談係
☎ 045-540-2233

◆港北区役所地域振興課生涯学習支援係
☎ 045-540-2238